

10月13日 日曜日

神輿還御

山車曳廻し 午前10:30～午後12:40
御仮舎 午後 2:00 より祭典
久伊豆神社 午後 5:00 到着(予定)
山車曳廻し 午後 7:00～午後 9:10



新石三丁目
べんけい
弁 慶



新石二丁目
しょうき
鍾 馗



新石一丁目
じんむてんのう
神武天皇



弥生町
やまとたけるのみこと
日本武尊

10月12日 土曜日

神輿渡御

久伊豆神社 午前 9:50 より祭典
御仮舎 午後 1:30 到着(予定)
山車曳廻し 午後 4:00～午後6:10
山車曳廻し 午後 7:00～午後9:10



本町二丁目
くすのきまさしげ
楠木正成



本町一丁目
りゅうじん
龍 神



中町
しょうき
鍾 馗



本町三丁目
すさのおのみこと
素戔鳴尊

越ヶ谷秋まつり

久伊豆神社例大祭

令和元年十月十二日・十三日



「越ヶ谷秋まつり」は越ヶ谷郷の鎮守社である久伊豆神社の御祭神を町内に設けられた御仮舎にお迎えする神輿渡御と、御帰りにたく還御行列を、旧越ヶ谷八ヶ町の山車八台が供奉して町内を練り歩き、秋の豊穣を祝うお祭りです。江戸時代中期の元禄時代より始まったとされていますが、今の様式になったのは明治期からといわれています。神旗を先頭に、刀・弓などの威儀物、稚児巫女さんや袴・袴姿に威儀を正した旦那衆や、古式豊かな神職の行列が、神輿をお供し、それに続く各町が各々自慢の山車人形を載せた山車を、そろいの着物の青年が木遣りを唄い、お囃子を賑やかに奏でながら曳き廻す様子は、昔の日光街道越ヶ谷宿の繁栄と町民文化の粋を感じさせます。

なお、越ヶ谷秋まつりで唄われる「木遣り」は、久伊豆神社例祭の練歌・曳歌としても重要で、「越谷市指定の無形民俗文化財」となっております。



運営 越ヶ谷秋まつり実行委員会
協賛 越谷商工会議所